

がん年報 2018年

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター



Oita Medical Center

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

巻 頭 言

大分医療センター
院長 穴井 秀明



「がん年報 2018 年版」が完成しました。2016 年版から数えて 3 冊目になります。

当院の病床数は 300 床ですが、現在は 15 床休床の 285 床で稼働しています。標榜診療科は 17 診療科で、眼科、耳鼻科、皮膚科、小児科、産科等はありません。しかし、内科系や外科系診療科がそれぞれ専門科に分化し、専門医療的総合病院として、地域の基幹病院としての役割を果たしています。よって、がんの種類は限局的ですが、2011 年（平成 23 年）に大分県がん診療連携協力病院に指定されています。主要 5 大がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん）と前立腺がんに関しましては、検査、診断、治療、看取りまで最初から最後まで、病める人々（患者さん、家族）に寄りそう医療で取り組んでいます。2019 年 4 月からは 24 時間対応の訪問看護ステーションも設立し、がん患者さんの在宅医療への備えも整えました。

がん関連の資格は医師をはじめ、放射線部、薬剤部、看護部、医療情報管理室まで多職種の多くの職員が有しており、有機的につながりながら、がんのチーム医療を行っています。

大分県東部地区の「がんセンター」的役割を果たして、地域医療完結型の病院として質の向上に貢献していきたいと思っています。

この「がん年報」が皆様の目にとまり、少しでも何らかのお役に立てれば幸いです。

最後になりましたが、「がん年報 2018 年版」作成に関係されました全ての職員の皆様に謝辞を申し上げます。

令和元年 8 月

目 次

1. 2018年がん治療実績 (主要5大がん＋前立腺がんの治療(2018年1月～12月実績))	
胃がん治療	1
大腸がん治療	2
肝がん治療	3
肺がん治療	4
乳がん治療	5
前立腺がん治療	6
2. 院内がん登録2018年症例報告	
①院内がん登録 登録件数	7
②部位別件数	8
③年齢階層別件数	8
④性別件数	9
⑤主要5部位＋前立腺 治療前ステージ別件数	9
⑥診断時住所	9
3. 部門別活動報告	
①放射線治療部門	10
②化学療法センター	12
③がん化学療法薬剤部	13
④緩和ケアチーム活動	14
⑤がん患者リハビリテーション	16
⑥がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳	17
⑦市民公開講座	18
4. 当院で治療を行っているがんの種類	19
5. がん関連資格取得者(2019年5月現在)	20
6. がん関連発表	23

1

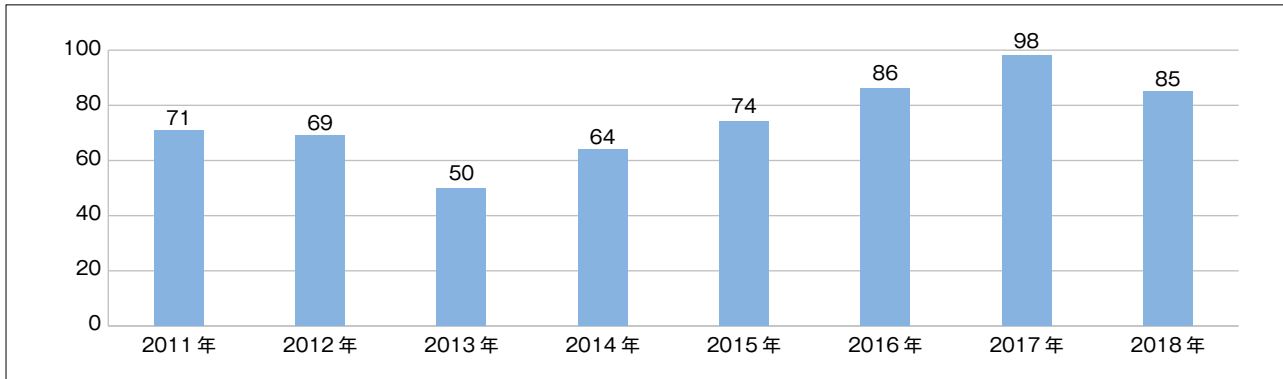
2018年がん治療実績

(主要5大がん + 前立腺がんの治療 (2018年1月~12月実績))

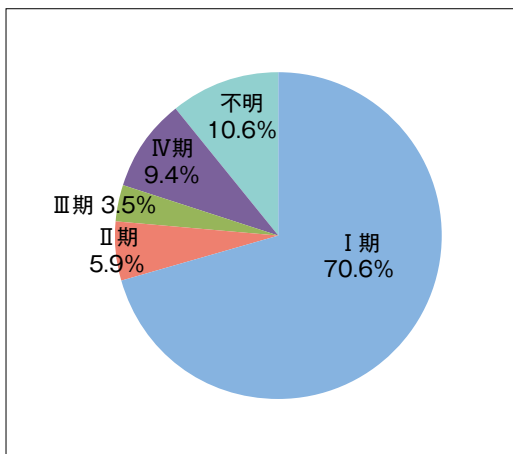


胃がん治療

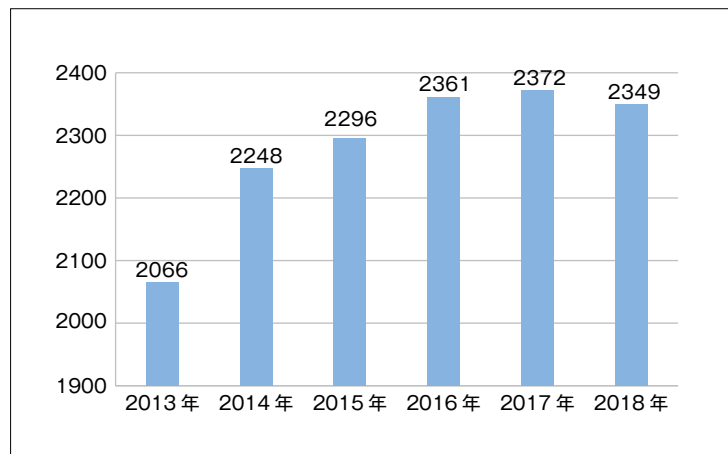
① 初回診断・治療件数



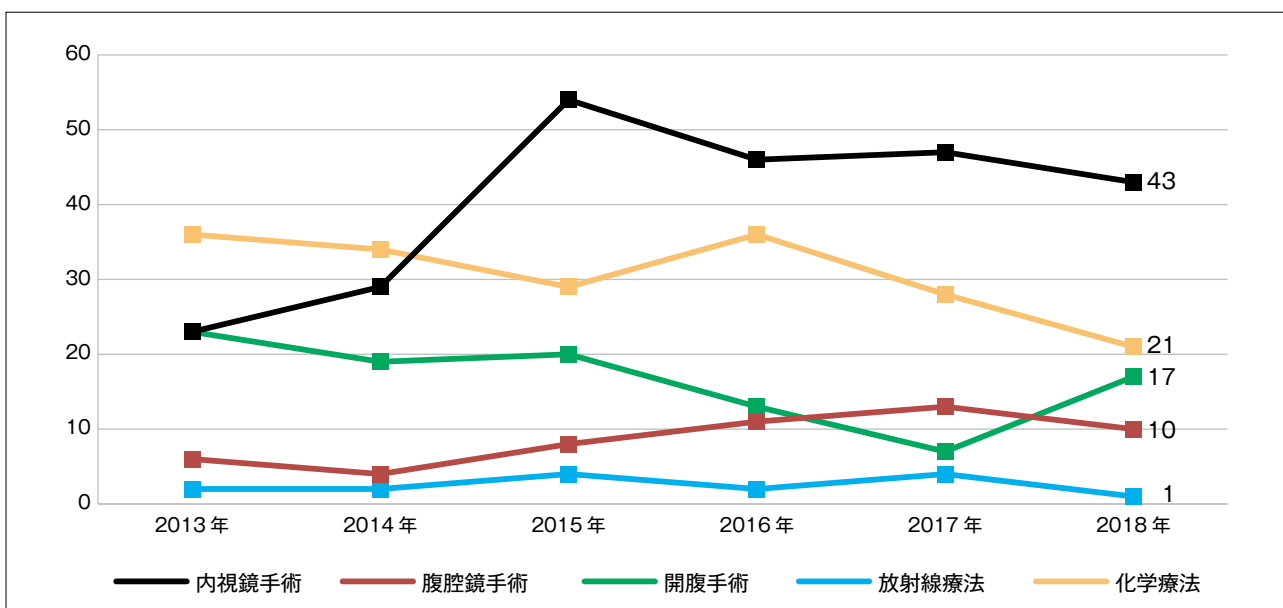
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 胃内視鏡検査件数

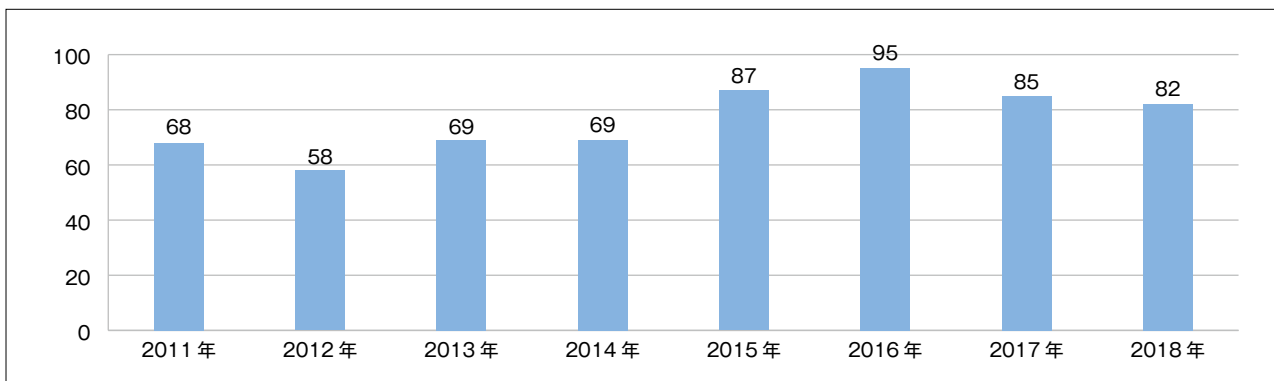


④ 治療件数 (重複含む)

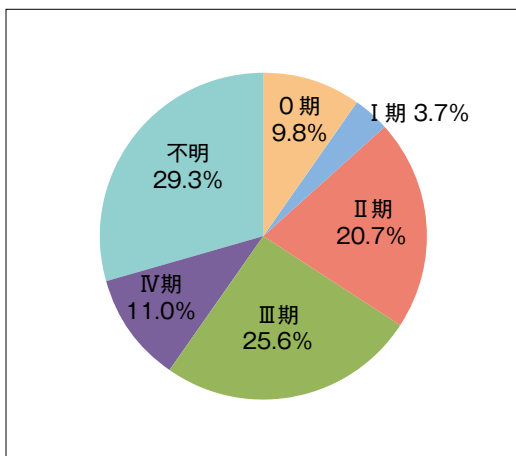


大腸がん治療

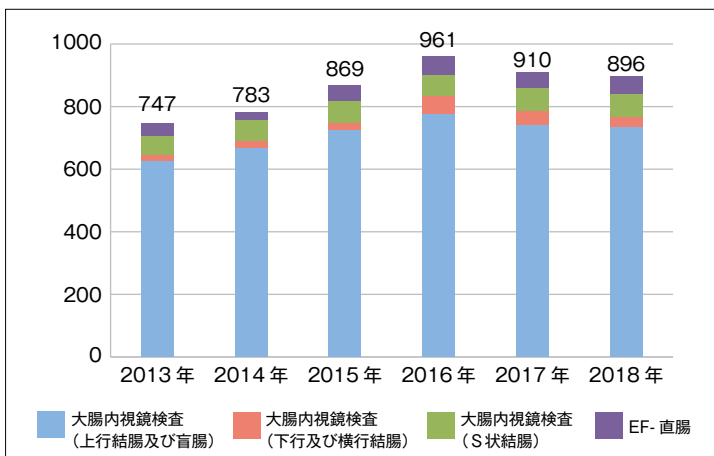
① 初回診断・治療件数



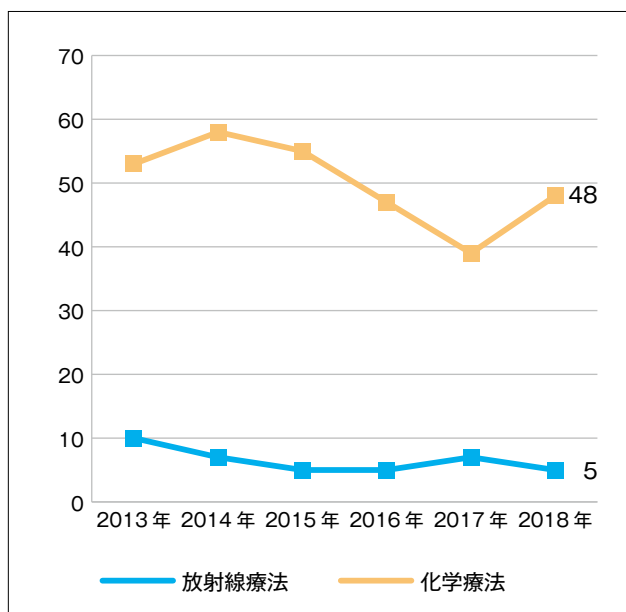
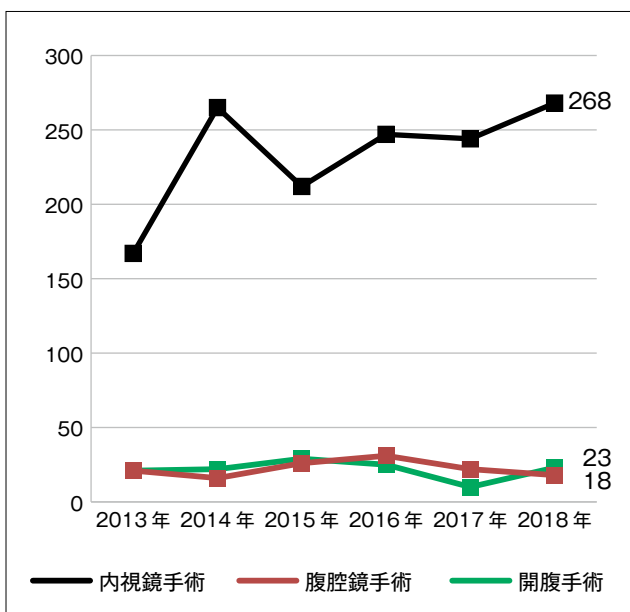
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 大腸内視鏡検査件数

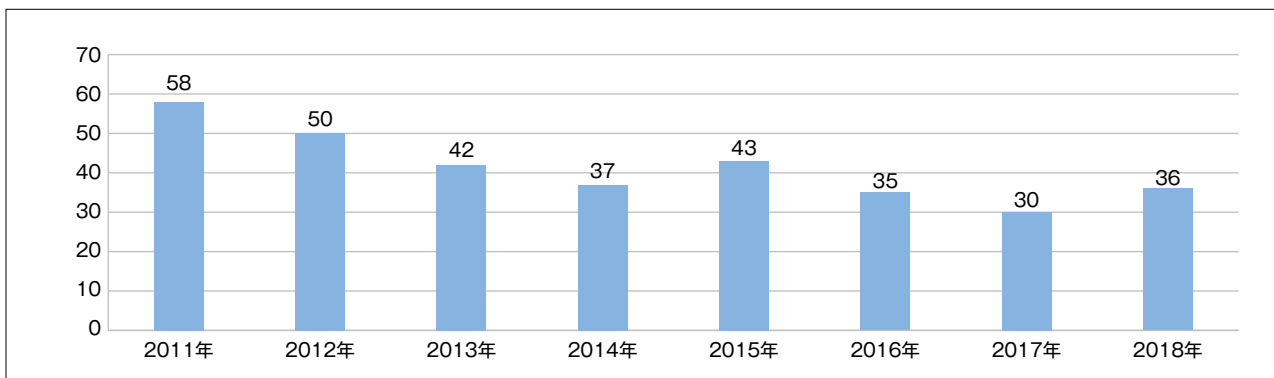


④ 治療件数 (重複含む)

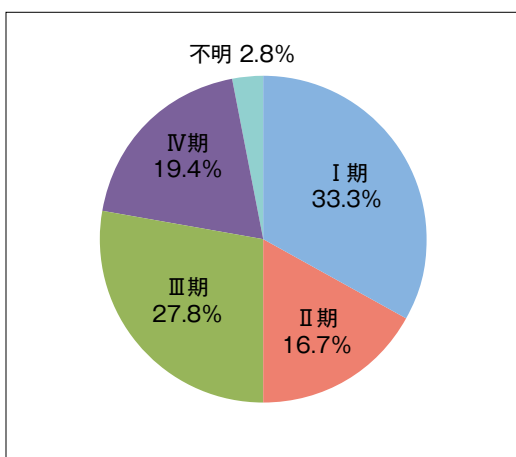


肝がん治療

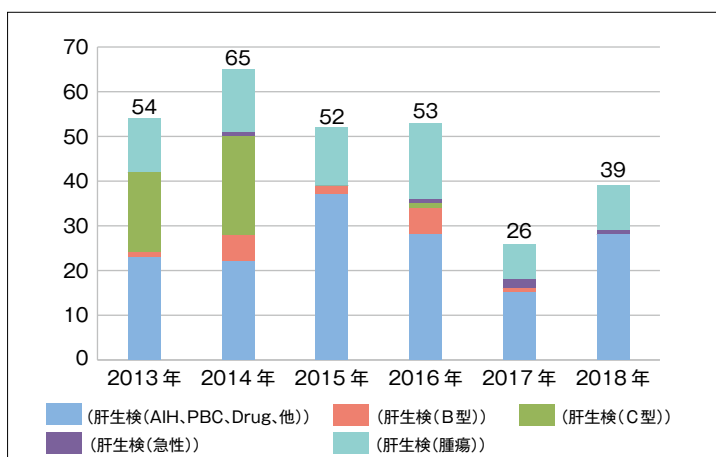
① 初回診断・治療件数



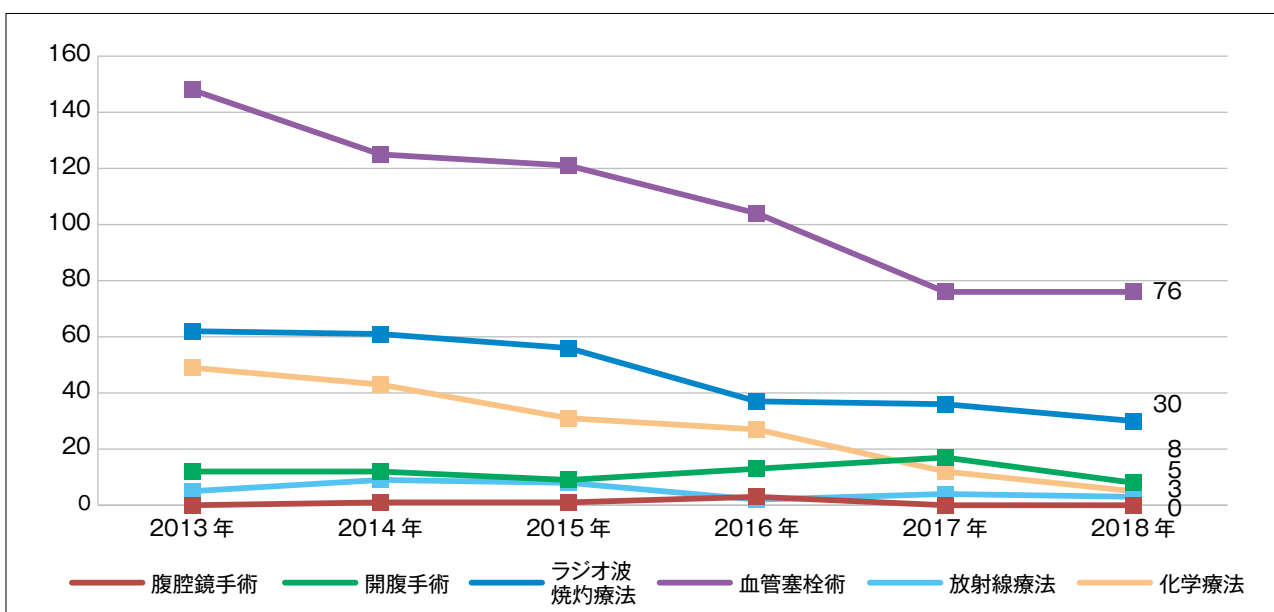
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 肝生検件数

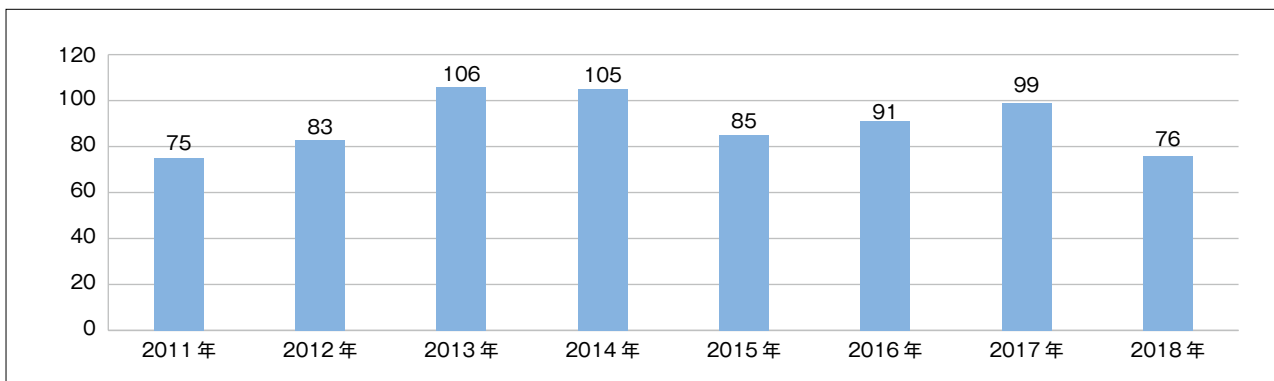


④ 治療件数 (重複含む)

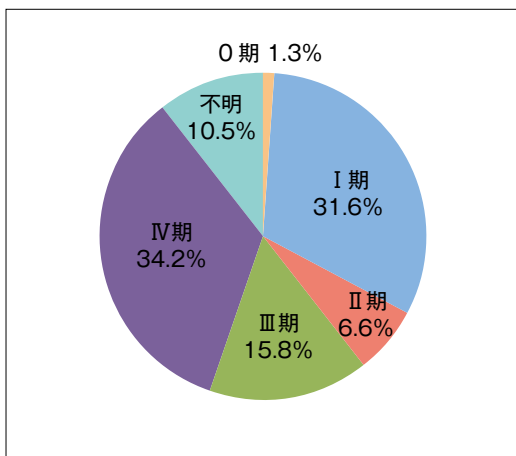


肺がん治療

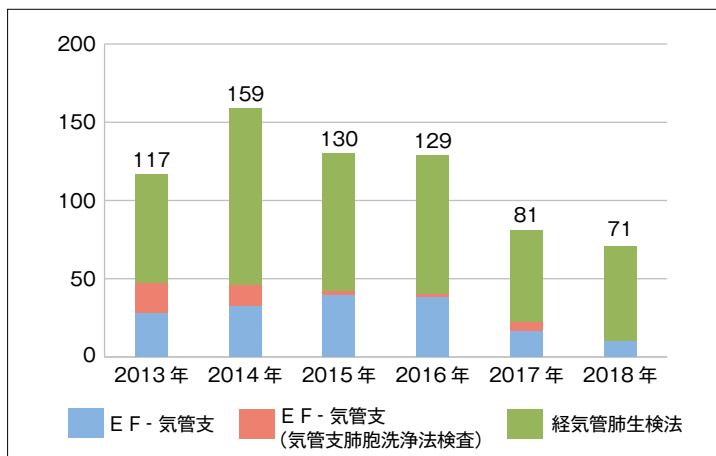
① 初回診断・治療件数



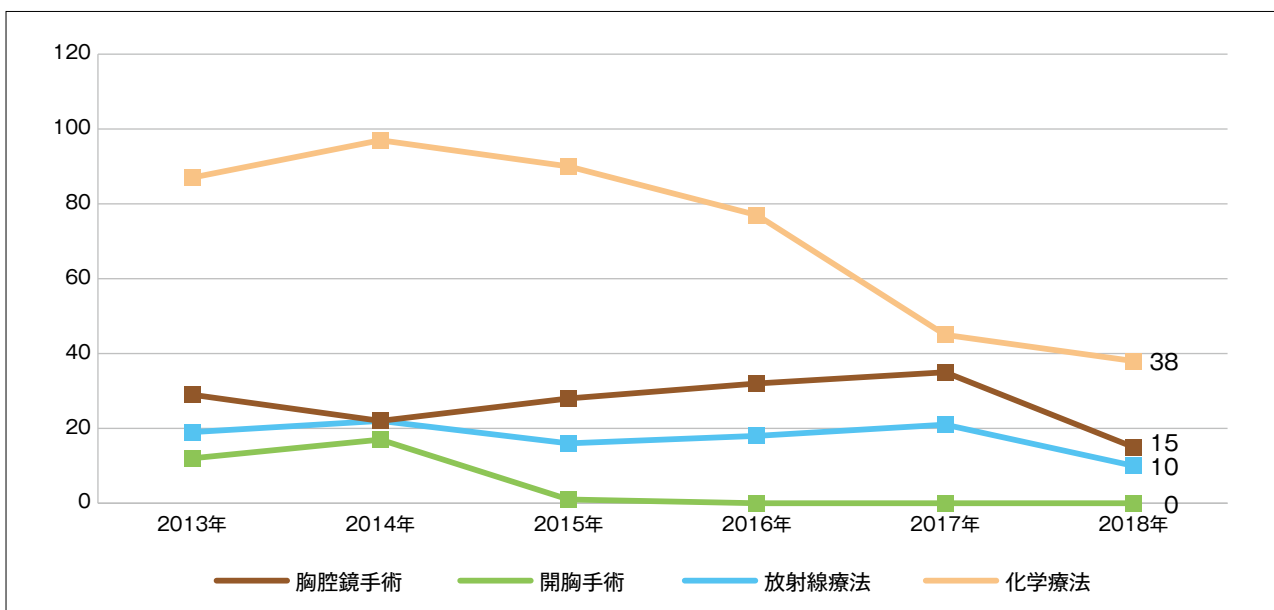
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 気管支鏡検査・肺生検件数

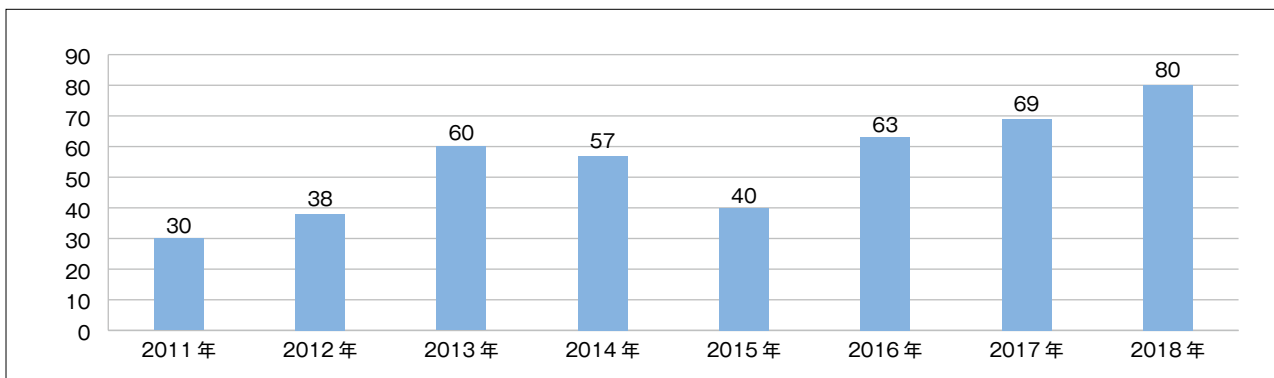


④ 治療件数 (重複含む)

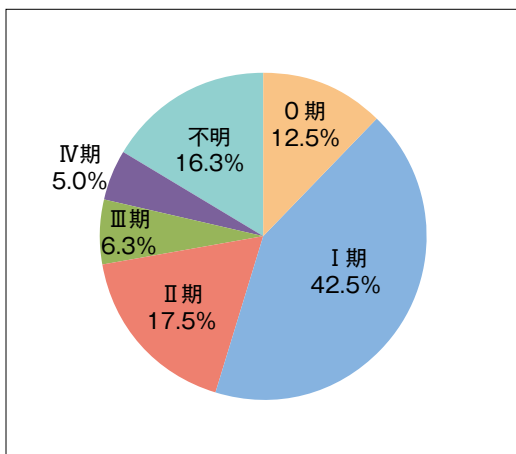


乳がん治療

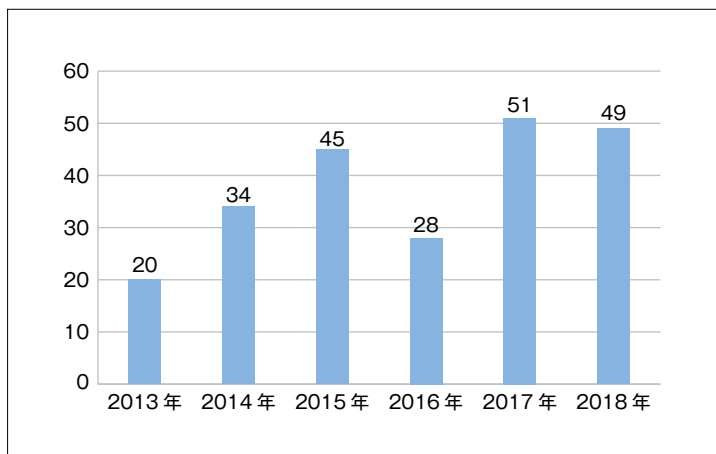
① 初回診断・治療件数



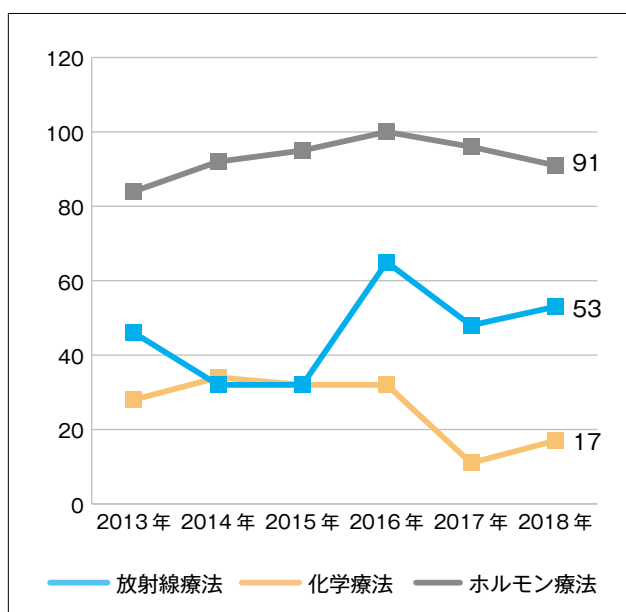
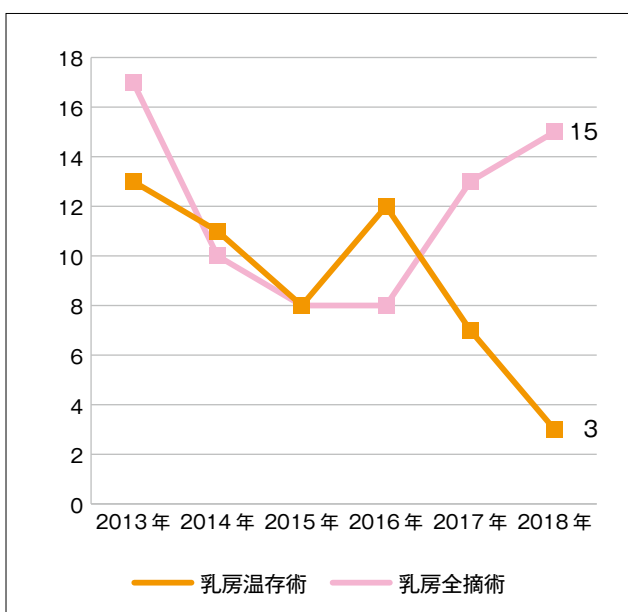
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 乳腺穿刺又は針生検件数

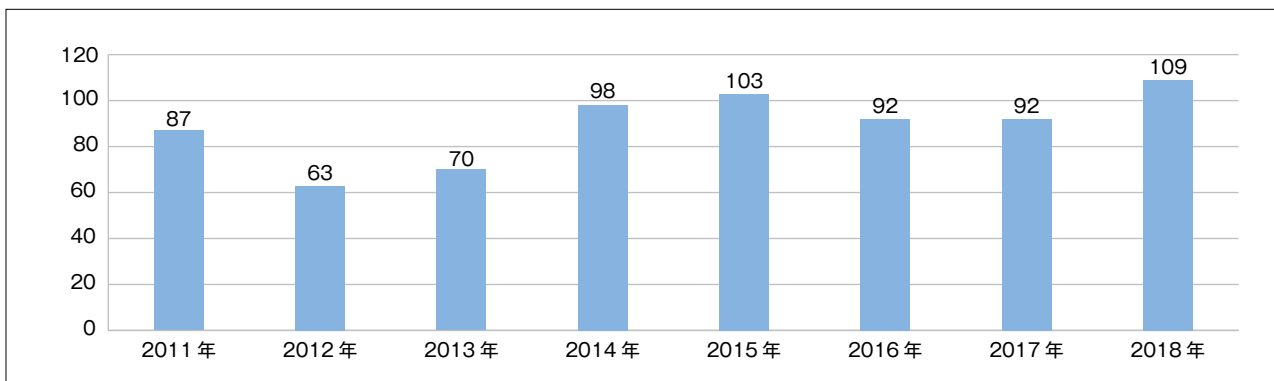


④ 治療件数（重複含む）

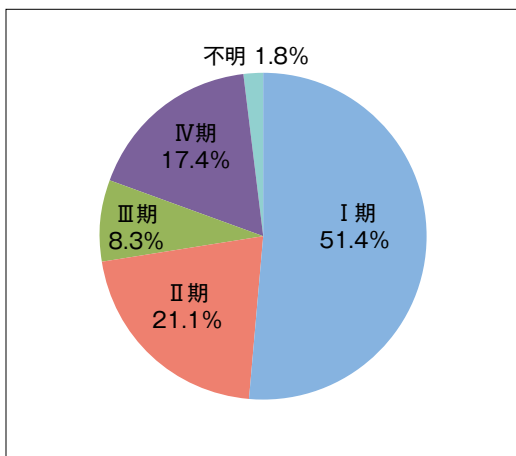


前立腺がん治療

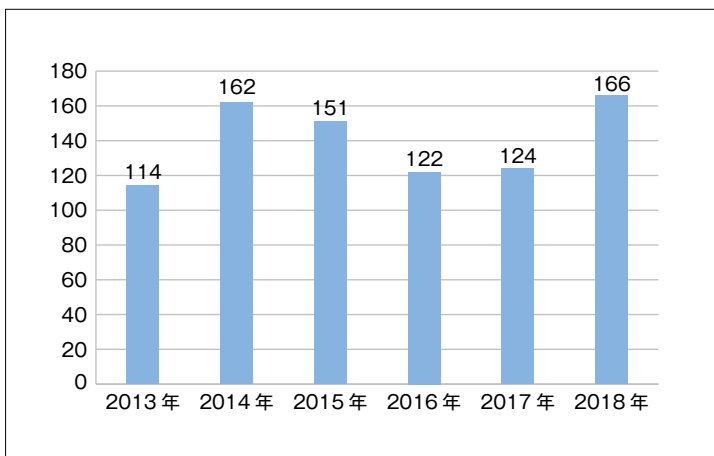
① 初回診断・治療件数



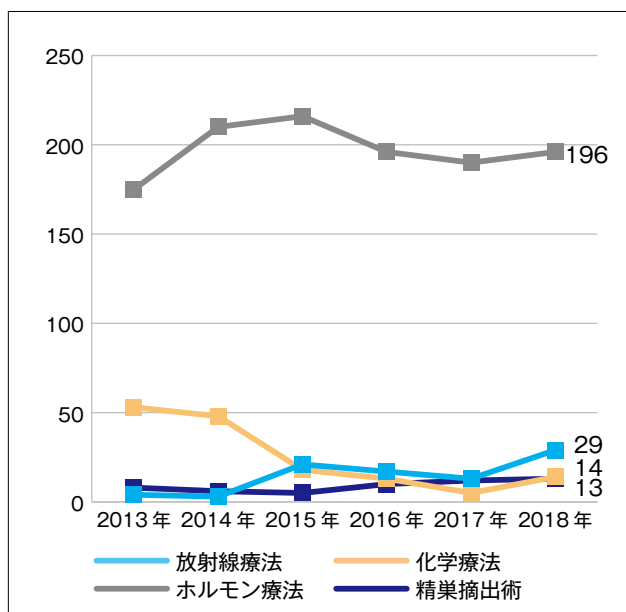
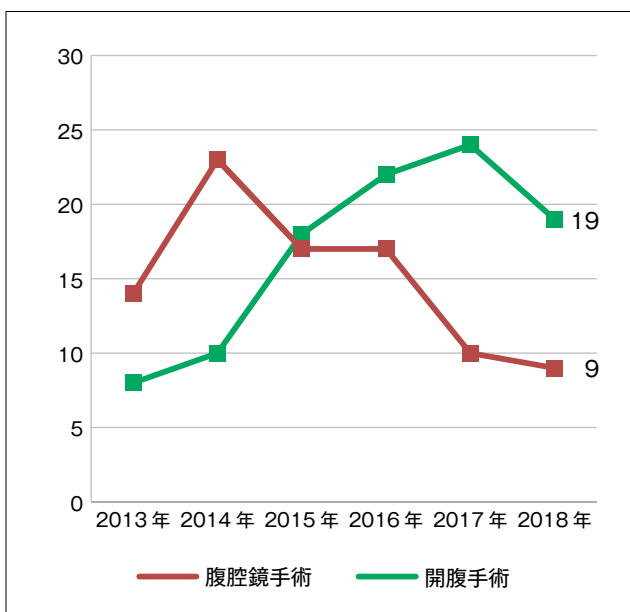
② 2018年症例治療前ステージ別割合



③ 前立腺生検件数



④ 治療件数（重複含む）



2

院内がん登録 2018 年症例報告



【登録・集計対象について】

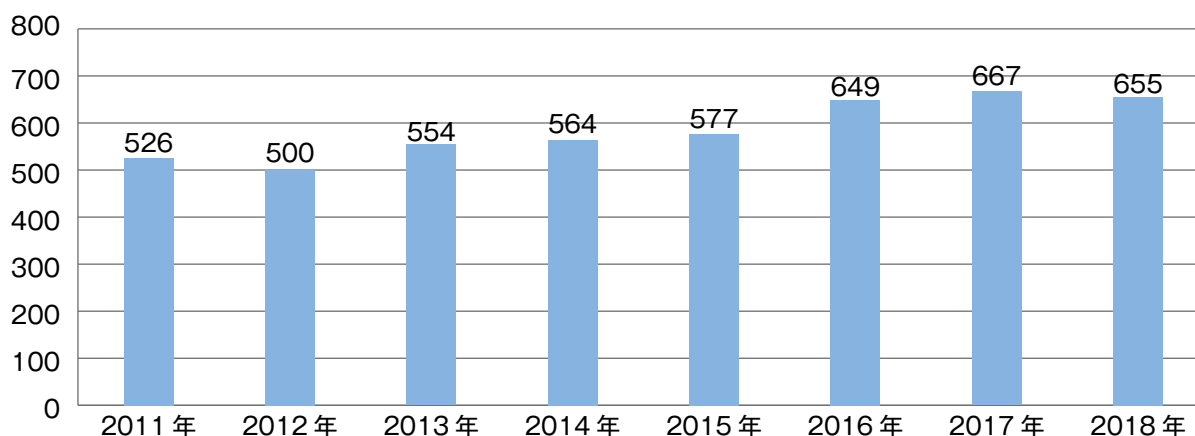
大分医療センターでは、2011年10月より大分県がん診療連携協力病院の指定を受け、2011年症例から院内がん登録を実施しています。院内がん登録の情報は、2016年より開始された全国がん登録にも利用されています。

院内がん登録では、がんの診断内容、治療内容、予後に関する情報を登録しています。院内がん登録の適切な登録により、当院における受療状況、治療内容、予後情報などのがん診療を把握することができ、がん診療の質の向上に役立っています。

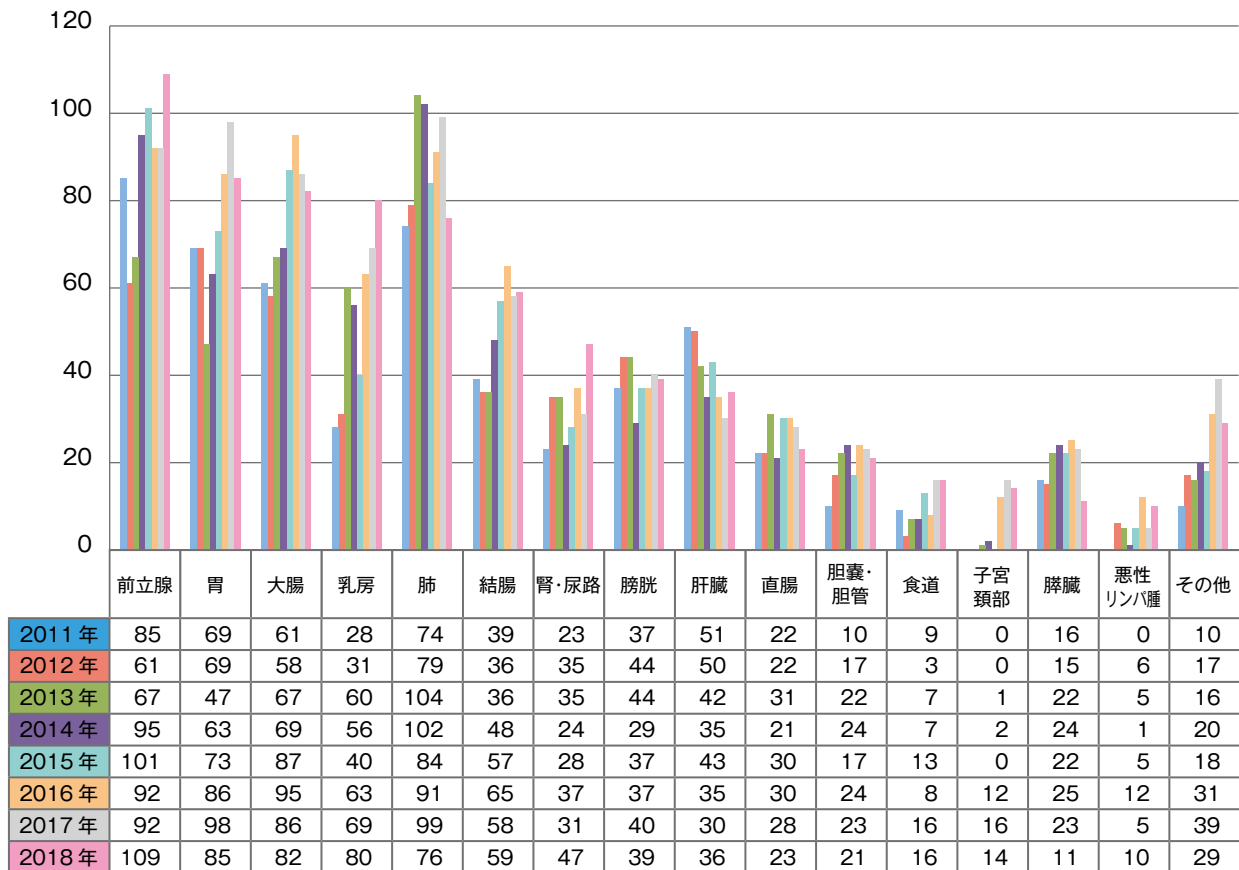
登録・集計対象は、当院でがんの診断・治療を受けた全ての患者さんを入院・外来問わず対象としています。そのため、積極的な治療を受けなかった患者さんやがんの診断のみで他院紹介となった患者さん、他院で治療後に受診した患者さんも含まれています。

2011年から2015年症例までの院内がん登録は、厚生労働省健康局総務課長が定めた「標準登録様式」に基づき登録を行い、2016年症例からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づき登録を行っています。また、2018年症例から「院内がん登録における多重がんルール」が変更されています。

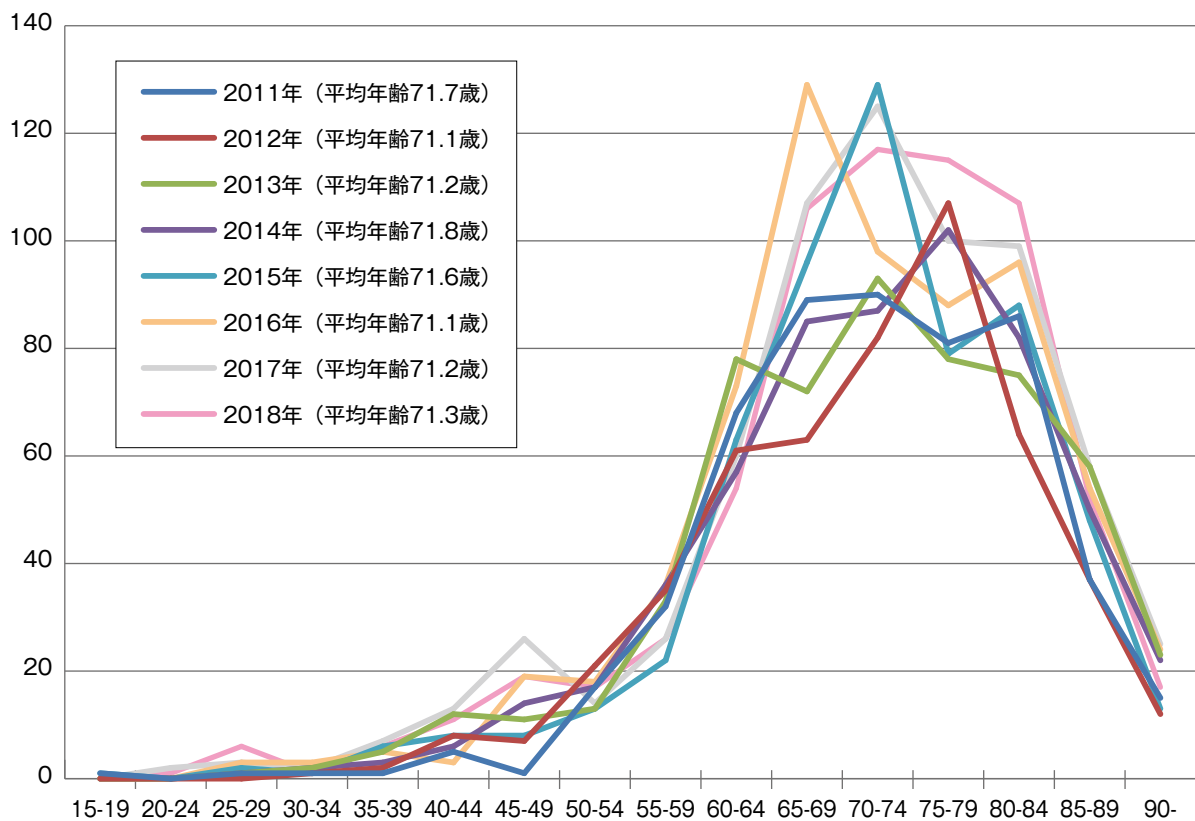
① 院内がん登録 登録件数



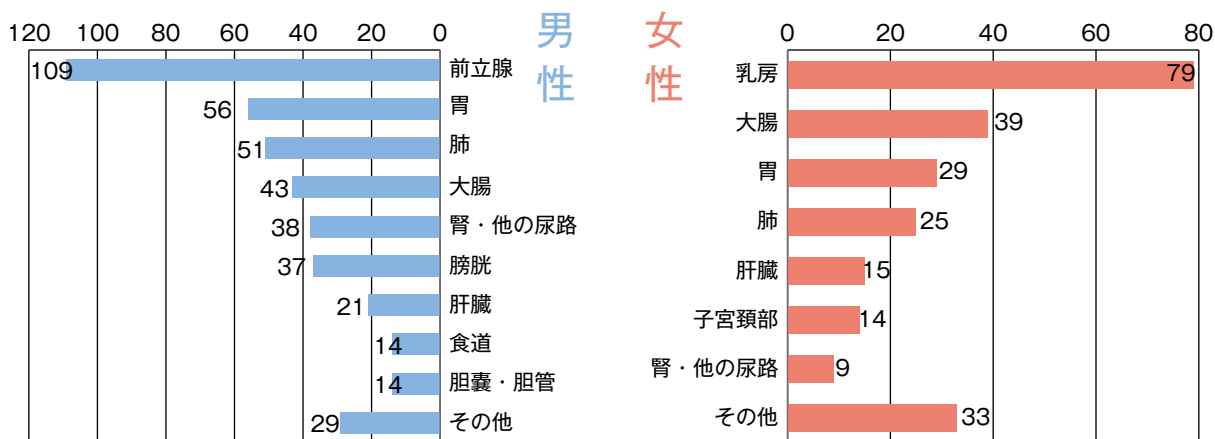
② 部位別件数



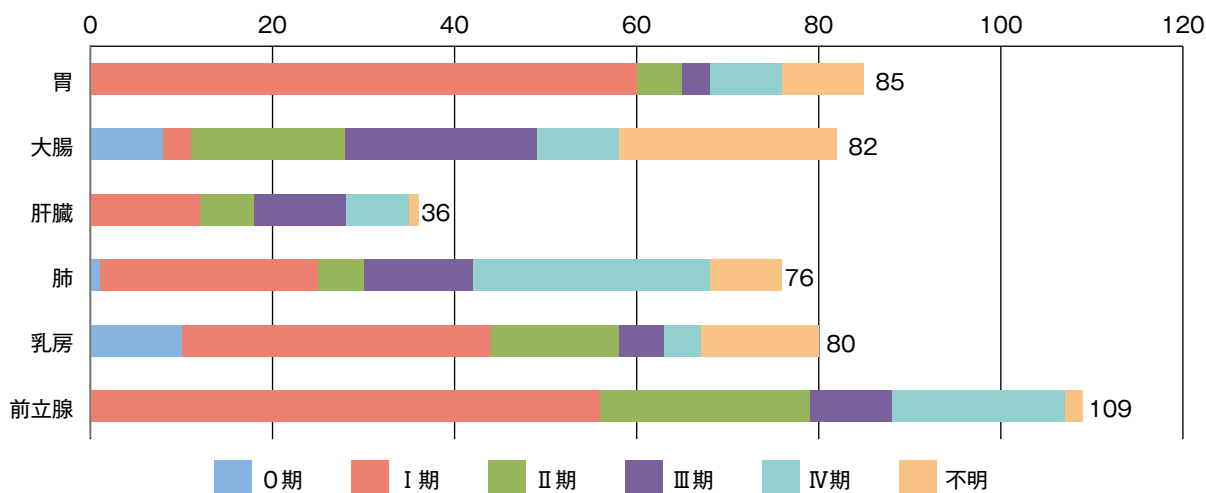
③ 年齢階層別件数



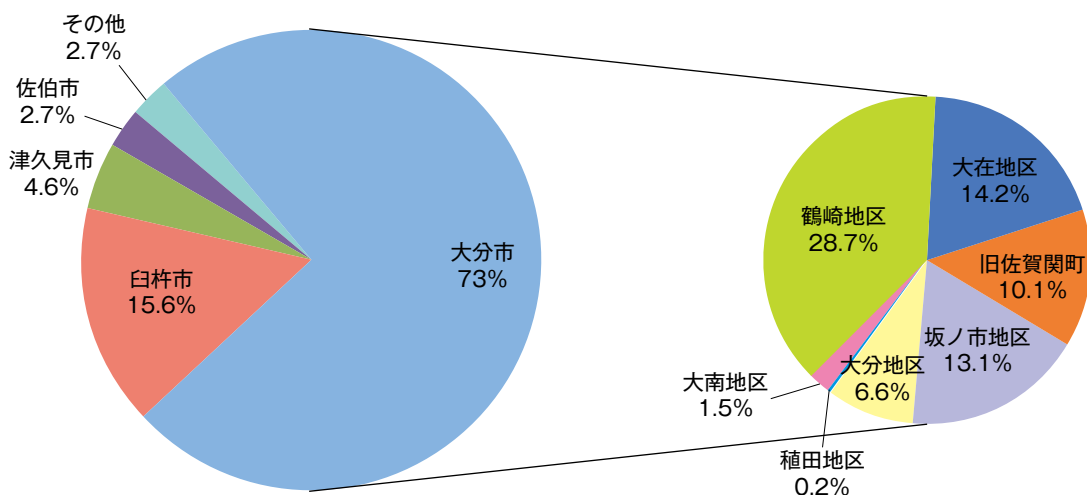
④ 性別件数



⑤ 主要5部位 + 前立腺 治療前ステージ別件数



⑥ 診断時住所



3

部門別活動報告



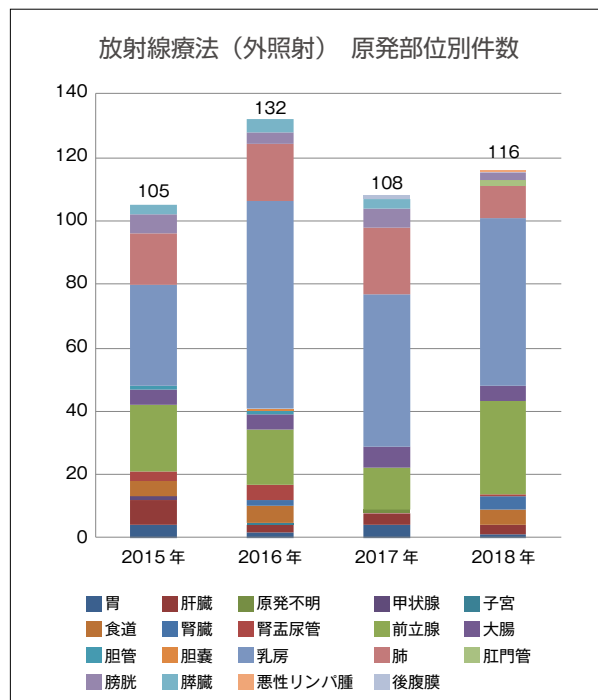
① 放射線治療部門

放射線治療（外照射）

放射線治療はがん治療の三本柱（手術療法、化学（薬物）療法、放射線療法）のひとつです。放射線を直接がん細胞に照射することで、がん細胞を死滅させます。放射線治療の多くは手術療法・薬物療法などと併用されます。切除範囲を縮小したり、再発を防ぐために手術療法の前後に行われたり、抗がん剤に耐性を持ち始めたがん放射線照射が追加されたりします。また、鎮痛剤の効きの悪い骨の転移の痛みをとり、神経を圧迫しているがんを縮小させ、痛みや麻痺を軽減するのに用います。がんの種類によっては、照射部位（臓器）の形態や機能の温存を目的として、放射線治療が単独で選択されます。

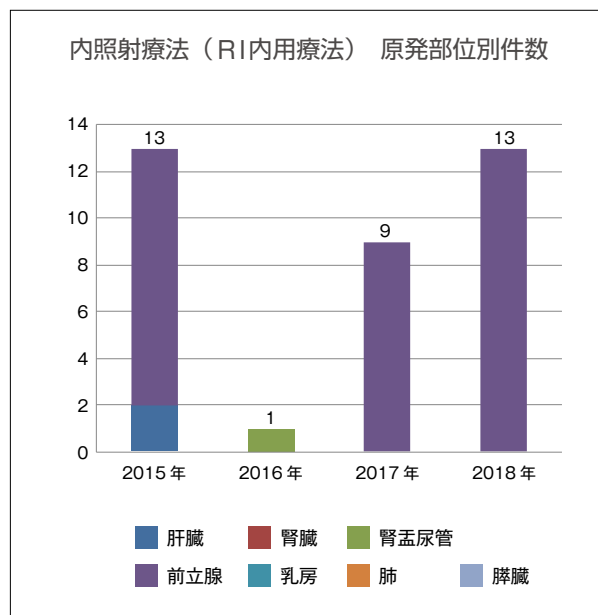
治療の流れとしては、毎週火曜日に放射線治療計画を行っています。主治医から依頼された患者さんの放射線治療への適応を判断し、十分な説明の上、治療計画用に撮影されたCT画像をもとに放射線の照射範囲・回数・強さなどを計画していきます。治療は通常毎日午後に行います。また、火曜日ごとに、患者さんの検査データを元に、副作用の有無など、放射線治療の効果に対するお話を聞かせていただいています。

体力・病態によっては、外来通院でも放射線治療は可能です。



内照射療法（RI内用療法）

多発する骨転移に対して、鎮痛・増大抑制を目的として内用療法を行います。治療効果のある放射性同位元素（アイソトープ:RI）を注射で体内に投与すると、血流と共に全身に広がり、骨病変に定着し放射線を放出します。鎮痛剤が効きにくい骨転移の痛みや、多発するため外照射療法を行いにくい場合に大変効果があります。平成29年4月よりゾーフィゴ（ラジウム-223）が採用されました。軽度の骨髄抑制が出現することもありますので、定期的な診察をさせていただきます。



治療装置

リニアアクセラレーター（放射線治療装置）

当院では全身・各部位の外照射治療を行っています。テーブルの上で短時間（10分程度）じっとできる人であれば、外照射治療を受けることが可能です。高エネルギーのX線や電子線を病変部に当てる治療で、痛みもなく、体力の消耗も少なく、外来通院でもできる優しい治療です。

当院では県内でも有数の最新放射線治療装置を有しており、簡易CTを併用することで、腫瘍の形態に合わせミリ単位の正確な放射線治療が実施できます。



多目的CT室（IVR-CT装置）

近年、低侵襲治療（体を傷つけることの少ない血管内治療：IVR）が発達してきました。IVRは、血管をたどって病変部にたどり着き、血液を遮断したり、抗がん剤を投与したりするカテーテル治療を行います。この治療の侵襲はカテーテルを挿入するため5mmほど皮膚を切開することだけです。当院の装置は血管造影装置にCT装置を併せ持っており、病変に、薬が正確に投与されたかどうかを評価しながら治療を行います。また、体の外から小さな針で病気のサンプルを抽出する「生検」や感染巣から膿を排出する「ドレナージ」の際には、重要臓器を損傷しないように、CT画像と超音波画像を同期させリアルタイムに参照しながら、処置・治療を行います。このような血管造影装置と専用CT装置を併せ持つIVR-CT治療室は県内でも3カ所、大分市内には当院のみにしかありません。



乳がん画像診断

乳房撮影装置

生活の欧米化に伴い、日本でも、乳がんの罹患率が上昇してきました。乳房撮影装置は乳房の撮影に特化したX線撮影装置です。マンモグラフィーとも呼ばれます。当院の装置は「位相コントラスト」と呼ばれる技術を用い、通常の装置よりもさらに細かいところまで描出できます。

当院では、撮影に女性放射線技師を配し、乳房撮影を行っています。



自動乳房超音波装置（ABUS）

乳房専用の3D超音波診断装置です。検査は乳房の上に検出器を載せるだけの簡単な検査です。結果は動画として収集され、専門の医師ほか複数人で読影を行っています。マンモグラフィーではわからない、高密度乳腺の中に潜む病変を見つけ出すことができます。当院では、撮影に放射線技師と臨床検査技師の2名以上の女性技師を配し、ABUSを行っています。



精密超音波装置

ABUS以外にも、もちろん通常の超音波検査も行っております。放射線科では他科から依頼で、乳房のみならず、頭頸部・腹部・動脈・静脈などの精密超音波検査を、放射線科医が実施しています。

※放射線治療や検査をご希望の場合は、かかりつけの医師に相談されるか、
当院の総合支援センター（地域医療連携部門）あるいは放射線科へご連絡ください。

② 化学療法センター

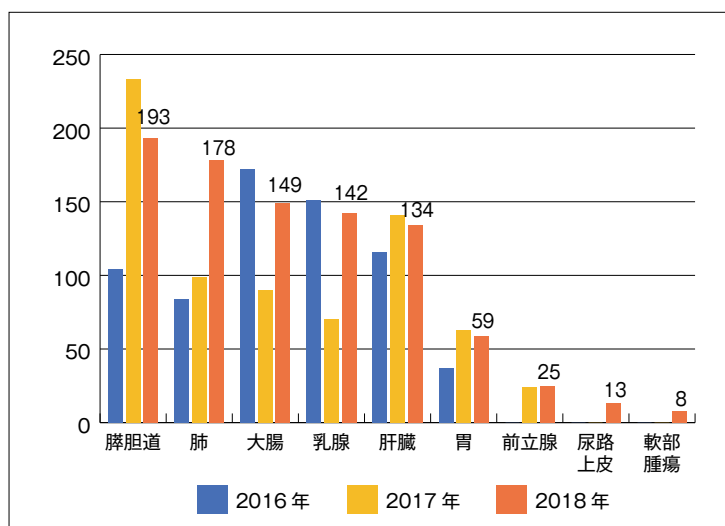
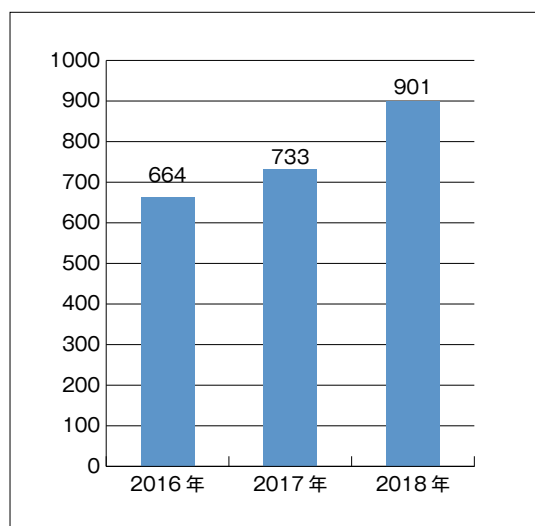
化学療法センターは、通院しながらがん薬物治療を行う患者さんが対象です。

近年、がん治療の進歩は目覚ましく、画期的な治療法や新しい薬剤も次々と登場し治療の選択肢が増加しています。がんと共に生きる患者さんにとって化学療法を継続することは大変です。対話を続けながら患者さんやご家族の希望を見出すことができたらと考え、日々、患者さんと共に治療に向き合い、一緒に考える姿勢を大事にしています。治療センター内では、リクライニングベットや無料テレビ、その他病気に関する情報提供を行う本やリーフレットを置き、患者さんがリラックスして治療が行えるよう工夫しています。

1) スタッフ

化学療法センター長	田原 光一郎
がん化学療法看護認定看護師	高橋 知子
化学療法センター看護師	宇都宮 亜友美 (専従)
がん薬物療法認定薬剤師	下村 真代

2) 外来化学療法件数 (2016年~2018年) 3) がん種別件数 (2016年1月~2018年12月)



治療薬の作用・副作用を踏まえ
日々学習し投与の安全を十分に
把握し確実な投与管理を行います。

化学療法センタースタッフと共に副作用
症状のケアと対処法を考えます。

生活の中での困りごとや治療選択に
おける相談を受け、アドバイスを
行います。



③ がん化学療法薬剤部

抗がん剤はほぼ全例薬剤部で安全キャビネットを用いて無菌調製を行っています。また薬の種類によっては閉鎖式システムを使用し、環境への曝露を低減できるよう努めています。医師の処方したレジメンは薬剤師が用量、休薬期間、当日の検査値や体重等をダブルチェックしています。また抗癌剤調製支援システムを導入しており、調製手順の解析、薬剤量の換算も自動で行われています。



● 外来 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	81	59	71	68	69	71	74	63	60	79	67	56	818
2016	65	61	74	63	61	60	53	58	49	37	45	38	664
2017	46	48	59	46	62	62	59	59	59	65	79	78	722
2018	58	59	59	72	94	72	83	72	70	90	89	83	901

● 入院 化学療法調製件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2015	67	67	57	60	53	51	61	43	58	44	29	33	623
2016	56	53	51	47	45	65	38	53	46	53	57	54	618
2017	62	81	67	76	79	56	45	56	68	53	51	41	735
2018	53	62	64	52	64	60	60	56	52	65	64	35	687

当院で使用される注射抗がん剤は全てレジメン審査委員会により審査されたのち登録したものを使用しています。登録されたレジメンの内容は大分医療センターホームページ内にも公開しており、誰でも参照することが可能です。

また、がん薬物療法認定薬剤師の資格を有する薬剤師が外来患者さんを対象に文書を用いた説明（薬の特徴、投薬スケジュール、副作用の種類と対応など）を実施しています。また医師・看護師など医療スタッフと協力し、副作用モニタリングを行い、必要に応じて処方提案を行っています。

● 2018年レジメン別のべ施行人数（上位）

レジメン名	臓器	人数
肝動注（CDDP+5-FU）	肝臓	17
XELOX	大腸	13
PEM	肺	11
CDDP+GEM	胆道	9
FOFIRI + ラムシルマブ	大腸	8
nabPTX + GEM	膵	8
CDDP + S1	胃	7
EC	乳腺	7
CDDP+GEM	尿路上皮	7
ニボルマブ	肺	7
ラムシルマブ + PTX	胃	7

④ 緩和ケアチーム活動

1) 緩和ケアチームとは

緩和ケアチームは、病気に伴う心と体の痛みを和らげ、希望する生活が送れることを支援するチームです。患者さん・ご家族が抱える問題は様々であるため、チームは多職種で構成されています。

当センターでは、患者さんにご家族に対して主に主治医、看護師により緩和ケアは提供されますが、抱えている問題によって緩和ケアチームが協働し問題解決に努め、希望する生活が送れるよう支援する体制を整えています。チーム構成は以下の通りです。

【当センターの緩和ケアチーム構成】

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. チームリーダー（呼吸器外科） | 8. リンクナース 6名 |
| 2. リンクドクター 3名（外科、泌尿器科、消化器内科） | （うちがん放射線療法看護認定看護師 1名） |
| 3. 副看護部長 | 9. 理学療法士 |
| 4. 看護師長 | 10. 栄養士 |
| 5. 副看護部長（がん化学療法看護認定看護師） | 11. 薬剤師 |
| 6. チーム専従看護師（がん性疼痛看護認定看護師） | 12. 医療社会事業専門職 |
| 7. チーム専任看護師（緩和ケア認定看護師） | 13. 事務職 |

2) チームの活動（2018年度）

(1) 緩和ケアチームによる病棟回診と症例検討会

患者さん・ご家族に最善の治療・ケアが提供できるよう、週1回評価ツールを用いて、患者さん・ご家族の抱える問題や治療・ケア・社会生活に対する希望など情報共有し、体と心の安楽及び希望の実現に向けた治療・ケアを検討します。症状を和らげるだけでなく、精神面のケアでは、気持ちのつらさに合わせて、専門家へ相談できる体制も整えています。



(2) 緩和ケアに関する知識・技術の普及

院内外の医療スタッフの緩和ケアの知識・技術の普及を目的としたセミナーの企画や緩和ケアが安全・適正に提供されるようマニュアルの整備を行っています。

①大分東部緩和ケアセミナーの実施状況

研修月	研修テーマ	講師	参加人数		
			院内	院外	合計
5月 (第35回)	1) 緩和ケアチームの取り組みについて 2) 呼吸器症状の緩和について	1) がん性疼痛看護認定看護師 廣田 紘子 2) 呼吸器外科部長 高祖 英典	33	20	53
9月 (第36回)	1) がん化学療法の副作用とケア ～食欲不振と味覚障害について～ 2) 食欲不振時の食事の工夫	1) がん化学療法看護認定看護師 高橋 知子 2) 栄養管理室長 佐藤 恭子	40	20	60
11月 (第37回)	緩和ケアチームからがんサポートチームとしての取り組み～第3次がん対策推進基本計画で求められていること～	福岡県済生会福岡総合病院 がん治療センター 副センター長兼外科部長 鹿田 康紀	57	13	70
3月 (第38回)	看取り前後のケア	大分ゆふみ病院 看護師長 緩和ケア認定看護師 堺 千代	27	31	58

②リンクナースの育成

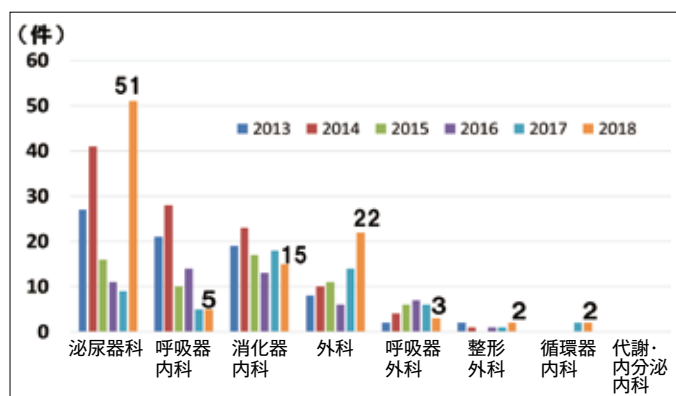
2017年度より病棟での役割モデルとなり最善のケアを患者さん・ご家族へ提供できるよう、委員会活動を通して、疼痛管理や倫理など緩和ケアに必要なとされる、知識・技術の向上を図っています。

(3) その他

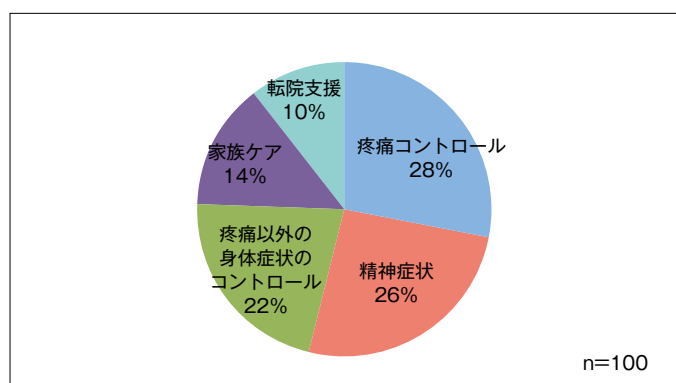
- ① 2018.5.28 平成 30 年度第 1 回緩和ケア実務者による情報交換会
- ② 2018.6.15 ~ 17 第 23 回日本緩和医療学会学術大会 神戸
- ③ 2018.8.25 ~ 26 緩和ケア研修会 別府医療センター
- ④ 2018.9.8 ~ 9 リレー・フォー・ライフ大分
- ⑤ 2019.2.21 平成 30 年度第 1 回大分県がん診療連携協議会緩和ケア専門部会議
- ⑥ 2019.3.2 平成 30 年度第 1 回大分県緩和ケアチーム研修会

3) 緩和ケアチーム介入状況

【2018 年度 診療科別介入患者数 (総数 100 件)】



【2018 年度 緩和ケアチーム依頼理由 (重複あり)】

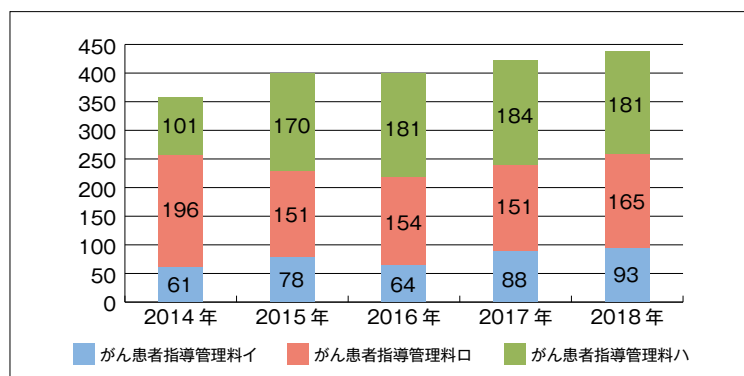


依頼理由	件数
疼痛コントロール	57
精神症状	52
疼痛以外の身体症状のコントロール	44
家族ケア	28
転院支援	21
その他	0

4) がん患者指導管理料

2014 年度よりがん患者さんとそのご家族に対する治療・ケアの充実を目的に、がんと診断され継続的な支援を必要とする患者・家族に対して、専門的な知識・技術をもった医療スタッフ^{*1}が迅速に介入し、日常生活を維持する中で治療が継続できるよう支援する体制を整えています。

【がん患者指導管理料加算算定件数推移】



※ 1 医療スタッフ：
 がん化学療法看護認定看護師
 がん放射線療法看護認定看護師
 がん性疼痛看護認定看護師
 緩和ケア認定看護師
 がん薬物療法認定薬剤師

⑤ がん患者リハビリテーション

当院では5大がん（胃・肺・肝臓・膵臓・乳がん）を中心とした治療に積極的に取り組んでおります。リハビリテーションにおいては周術期リハビリテーション、化学療法・放射線治療中のリハビリテーション、緩和リハビリテーション等、患者さんの治療・要望に合わせたリハビリテーションを展開しています。

周術期リハビリテーション

理学療法

術前より呼吸訓練や筋力訓練を実施し、術後は早期離床を図ることにより術後合併症の予防に取り組んでいます。

作業療法

患者さんの状態にあわせた ADL 訓練を取り入れ在宅復帰に不安がないよう支援していきます。

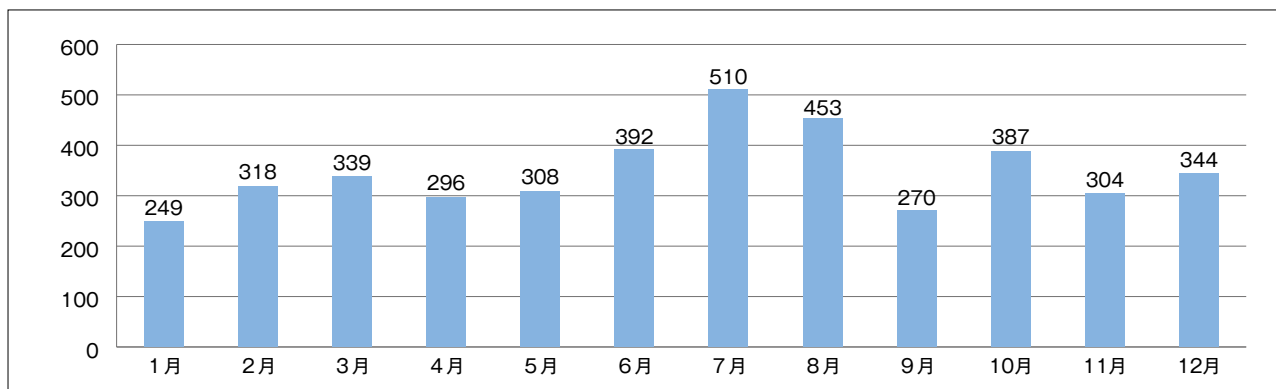
化学療法・放射線治療中のリハビリテーション

抗がん剤や放射線治療中は倦怠感の出現や体力低下等を来します。適切で適度な運動を行うことでこれらの副作用の軽減が期待できます。当院では治療開始早期からリハビリテーションを取り入れ ADL、QOL 維持に努めています。

緩和リハビリテーション

当院の緩和ケアチームと連携し痛みや呼吸困難感に対して緩和的リハビリテーションを提供しています。

【がん患者リハビリテーション料件数】（2018年）



がん患者リハビリテーション研修者

職種	氏名
医師	穴井 秀明
医師	椛島 章
医師	梅田 健二
医師	住野 泰弘
看護師	加来 美里
看護師	佐藤 千秋
看護師	神志那 邦子
理学療法士	富永 了
理学療法士	山下 真由子

職種	氏名
理学療法士	溝口 智紀
理学療法士	甲斐 均
理学療法士	今村 健二
理学療法士	原田 愛子
理学療法士	嶋山 裕文
作業療法士	大黒 陽蔵
作業療法士	貞方 真也
作業療法士	有岡 光太郎
言語聴覚士	安部 遥志

⑥ がん相談支援センター、がんサロン、がん川柳

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん専門相談としての研修を受けたスタッフ（看護師、医療ソーシャルワーカー）が、信頼出来る情報に基づいてがん治療の療養生活全般の相談をお受けしております。また、がんサロンの開催やがん川柳の募集、冊子の発行等の活動を通じて、がん患者さんのケアやがん啓発を行っています。

相談業務

早期発見などに関する一般的な情報の提供、セカンドオピニオンについて、がん患者さんの療養上の相談、がん患者支援団体の情報の提供。

その他業務

がんサロンの運営、がん川柳等の啓発活動、大分県がん相談支援センター情報交換会に参加。

がんサロン

がんサロンは、がん患者さんやそのご家族など、同じ立場の人達が集い、気軽に語らう為の交流の場として開催しています。

開催日	テーマ	講師	参加人数
平成 30 年 1 月 31 日 (第 36 回)	1. ストレスケア ～マインドフルネスを用いて～ 2. 当事者からの体験談	1. 別府医療センター ソーシャルワーカー 井上祥明・玉野緋呂子 2. がんサポートグループ クーナフエゴ	9 名
平成 30 年 3 月 13 日 (第 37 回)	1. がん相談支援センターのおはなし 2. がん患者さんとご家族の語らい	大分医療センター MSW 岡江晃児 看護師 廣田 紘子	12 名
平成 30 年 5 月 11 日 (第 38 回)	1. がん講座「肺がんのお話し」 2. がん患者さんと家族の語らい	大分医療センター 呼吸器外科部長 高祖 英典	6 名
平成 30 年 7 月 10 日 (第 39 回)	1. 患者交流会（がん川柳作品集）		6 名
平成 30 年 9 月 11 日 (第 40 回)	終活・エンディングノート ～自分を見つめ、“今”をよりよく、 自分らしく生きるために～	杵築市医療介護連携課企画政策係 ソーシャルワーカー岡江晃児	12 名
平成 30 年 12 月 6 日 (第 41 回)	1. がん患者さんとご家族の語らい 2. がん川柳表彰式		7 名

がん川柳

がん川柳は、がん患者さんやがん患者さんを支えている家族・知人・支援者が、がんにつながるエピソードや日頃の思いを川柳にのせて、感情表出を行い心のケアを行うことや、がん川柳の思いを地域・社会へ発信し、がん患者さん等の思いを共有することを目的に開催しています。

- 平成 30 年 3 月 31 日 がん川柳冊子発刊
「第 4 回 がん川柳五・七・五～がん患者の思いを川柳にのせて～」
- がんチャリティーイベント（リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分 2018）に参加し、当院企画テントとして展示や配布。



第4回 がん川柳五・七・五

⑦ 市民公開講座

第6回大分医療センター市民セミナー

主 催：大分医療センター

共 催：一般社団法人 大分東医師会

日 時：平成30年6月9日（土）14：00～15：30

会 場：大分医療センター地域医療連携センター大会議室

テーマ：もっと知ろう！日常生活に役立つ病気のこと！



■講演 座長 副院長 奈須 伸吉

1. 『骨粗鬆症について』

猿渡整形外科スポーツリハクリニック 院長

猿渡 知行

2. 『消化器がんの内視鏡治療とピロリ菌について』

消化器内科医長 豊田 亮

3. 『前立腺がんについて』

泌尿器科部長 住野 泰弘



■健康相談

専門の医師や看護師、医療ソーシャルワーカーが健康の悩みにお応えします



■ミニコンサート

フルート奏者 須賀中 美枝

ピアノ奏者 伊藤 七奈

4

当院で治療を行っているがんの種類



○：対応可 ×：対応不可

		診 療	セカンド オピニオン
頭部・頸部	脳腫瘍	×	×
	脊髄腫瘍	×	×
	目のがん	×	×
	口腔がん・咽頭がん・鼻のがん	×	×
	喉頭がん	×	×
	甲状腺がん	×	×
消化器がん	食道がん	○	○
	胃がん	○	○
	十二指腸がん・小腸がん	○	○
	大腸がん	○	○
	GIST	○	○
肝臓 / 胆道 / 膵臓	肝がん	○	○
	胆管がん・胆のうがん	○	○
	膵がん	○	○
胸部・乳房	肺がん	○	○
	乳がん	○	○
	縦隔腫瘍（胸腺がんなど）	○	○
	中皮腫	○	○
泌尿器	腎がん	○	○
	腎盂がん・尿管がんなど	○	○
	膀胱がん	○	○
	副腎腫瘍	○	○
男性特有のがん	前立腺がん	○	○
	精巣がん	○	○
	その他の男性生殖がん（陰茎がんなど）	○	○
女性特有のがん	子宮頸がん・子宮体がん	○	○
	卵巣がん	○	○
	その他の女性のがん （陰がん・外陰がんなど）	○	○
皮膚 / 骨と軟部腫瘍 / 血液・リンパ	皮膚のがん	×	×
	骨と軟部腫瘍（筋肉や脂肪など）のがん	×	×
	血液・リンパのがん	×	×
その他	後腹膜・腹膜腫瘍	○	○
	性腺外胚細胞腫瘍	×	×
	原発不明がん	×	×
小児	小児脳腫瘍	×	×
	小児の目のがん	×	×
	小児の骨と軟部組織のがん	×	×
	他の小児の固形腫瘍（神経芽腫など）	×	×
	小児の血液・リンパのがん	×	×

※セカンドオピニオンの申し込み窓口は総合支援センター（097-593-1112（直通））になります。
詳しくはホームページをご覧ください。

5

がん関連資格取得者（2019年5月現在）



【診療部門】

▼ 外科

職名	氏名	取得資格・認定
院長	穴井 秀明	日本外科学会外科認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本乳癌学会認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
部長 (肝胆膵)	田原 光一郎	日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 日本外科学会外科認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
臨床研究部長 (消化管)	椛島 章	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医長	梅田 健二	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
医師	渡邊 公紀	日本外科学会外科専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
医師	是久 翔太郎	日本外科学会外科専門医

▼ 呼吸器内科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	一宮 朋来	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
医長	中野 哲治	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医

▼ 消化器内科

職名	氏名	取得資格・認定
名誉院長	室 豊吉	日本内科学会認定医・指導医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
部長	山下 勉	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本内科学会総合内科専門医
医長	豊田 亮	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
医長	大塚 雄一郎	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会内視鏡指導医認定内科医
医師	水内 梨絵	日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本内科学会認定内科医

▼ 呼吸器外科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	高祖 英典	呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本外科学会認定外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

▼ 泌尿器科

職名	氏名	取得資格・認定
副院長	奈須 伸吉	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
部長	住野 泰弘	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
医長	甲斐 友喜	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医

▼ 婦人科

職名	氏名	取得資格・認定
部長	岡田 さおり	産婦人科学会産婦人科専門医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医 日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医 日本産婦人科乳腺医学会乳房疾患認定医
医長	岡本 真実子	産婦人科学会産婦人科専門医

▼ 放射線科

職名	氏名	取得資格・認定
統括診療部長 (産業医)	中村 雄介	日本インターベンショナルラジオロジー学会 (IVR) 専門医 日本医学放射線学会放射線科専門医

▼ 病理診断科

職名	氏名	取得資格・認定
研究検査部長	森内 昭	日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床検査医学会臨床検査管理医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本病理学会認定病理医

【コメディカル】

▼ 放射線部門

氏名	取得資格・認定
出水 健教	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
浦川 里佳	検診マンモグラフィ認定技師
森 康哲	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
宮本 真衣	検診マンモグラフィ認定技師

▼ 薬剤部

氏名	取得資格・認定
下村 真代	がん薬物療法認定薬剤師

▼ 看護部

氏名	取得資格・認定
高橋 知子	がん化学療法看護認定看護師
廣田 紘子	がん性疼痛看護認定看護師
佐藤 晶子	がん放射線療法看護認定看護師
岐部 久恵	皮膚排泄ケア認定看護師
古田 聡美	緩和ケア認定看護師

▼ 医療情報管理室

氏名	取得資格・認定
中川 博之	院内がん登録実務中級認定者

独立行政法人 国立病院機構
大分医療センター

がん年報 2018年

発行日：2019年8月

大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号)TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター)TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <https://oita.hosp.go.jp/>

Cancer Annual Report 2018 Oita Medical Center

独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター

〒870-0263 大分県大分市横田2丁目11番45号
(代表番号) TEL 097-593-1111 FAX 097-593-3106
(総合支援センター) TEL 097-593-1112 FAX 097-528-9651
ホームページ <https://oita.hosp.go.jp/>